

救世軍西新井小隊 献堂32周年記念

# 福音落語会

愛と希望を伝える宣教落語家

ゴスペル亭パウロ

演目

一、明治クリスチャン偉人伝落語

山室軍平・機恵子物語

二、防災落語

首都直下地震、その時どないするねん？

三、福音落語

罪ゆるされた女



2022年10月9日(日)

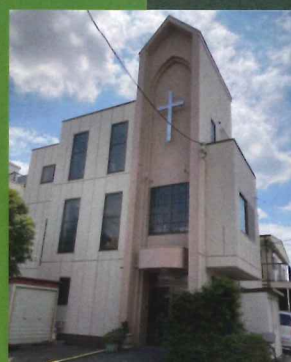
開場:12:40 開演:13:00~14:30頃

(入場無料)

会場:救世軍西新井小隊

足立区本木南町22-10

TEL 03-3889-3894



<宣教落語家・ゴスペル亭パウロ>

本名：小笠原浩一 1962年和歌山市生まれの60歳。大阪産業大学卒業後、地元のCOOPで32年働く。50歳を前に落語教室に通いはじめ、桂枝曾丸先生より、落語の手解きを受ける。ゴスペル落語会に、第一回から第五回まで連続出演。10年目で312箇所にて公演。

防災士 終活ガイド 関西キリスト災害ネットワーク副代表 クリスマン防災士ネットワーク  
日本国際飢餓対策機構【ハンガーゼロ】親善大使 世話人

【NHK:ぐるっと関西】 【ABCラジオ:近放伝】 【ラジオ関西:モリユリの心のメロディ】

【トランスワールドレディオ:ゴスペルのちから】 【朝日新聞】など



<救世軍 (The Salvation Army) >

救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置く、世界132の国と地域で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865(慶応元年)、英国のメソジスト教会の牧師ウィリアム・ブースと、妻のカサリンによって始められました。日本での働きは、1895(明治28)年に英国から士官(伝道者)の一行が来日して始まりました。救世軍の活動を開始する集会が正式に開かれた9月22日が、日本における救世軍の開設記念日となっています。

日本人で最初に救世軍士官となった山室軍平は、機恵子夫人の助けによって、誰にでもわかりやすい言葉で説教や聖書解説に取り組み、当時の労働者階級から政治・経済の要人まで、多くの人々に感化を残しました。127周年を迎える日本の救世軍では、現在41の小隊(教会)と、19の社会福祉施設、2つの病院(ホスピス併設)を通して、働きを進めています。

西新井小隊は、1933(昭和8)年6月に働きが始められました。その経緯は、一人の士官が身分を隠して身を投じ、地域の過酷な労働状況と生活状況を肌で感じ、この地域に救世軍の必要性を本部に進言した事で開設に至りました。戦時中は、日本基督教団足立本木教会に編入しましたが、1950(昭和25)年に再び救世軍として再開しました。現在の会堂は、1990(平成2)年10月6日に建築され、以来32周年の歩みを記念し、この度特別集会を開催致します。

西新井小隊では、毎週日曜日 午前10時30分から 聖別会(礼拝)、日曜学校(子どもの集会)をはじめ、新型コロナウイルスの本格的な収束が確認され次第、女性の集い、高齢者の集いの他、地域のニーズに応じた働きを再開致します。



カサリン&ウィリアム・ブース夫妻



山室軍平・機恵子夫妻